

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB版はこちら

# 議会だより



No. 220

令和7年2月1日発行

## CONTENTS

## 12月定例会

医療大学の移転を踏まえた経済対策 ほか . . . . . p. 2

総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会

5人の議員が町の考えを質す . . . . . p. 4

- ・ 農業者支援と補聴器の購入助成
- ・ 少人数学級独自基準のとりやめ
- ・ 積極的な取り組みで介護人材確保
- ・ 実効的なハラスメント対策を
- ・ 太美駅構内の整備と充実

町民の皆様から沢山のお声をいただきました . . . . . p. 9

当別町議会広聴会「とべと〜く（仮）」実施報告



当別町議会広聴会「とべと〜く（仮）」の様子

総務文教常任委員会（12/4）、産業厚生常任委員会（12/5、9）を開催しました。ふれあいバスの路線再編や北海道医療大学の移転に関する経済対策など、多岐にわたる質疑がありました。

## ふれあいバスの路線再編



### デマンドバスの予約に慣れを

当別ふれあいバスの路線再編（案）



ふれあいバスの路線再編は令和7年4月からであるが、青山線の完全デマンド化を令和8年12月からとした理由は。



デマンドバス<sup>※1</sup>の予約に慣れてもらうため、段階的にデマンド化することとしている。まずは利用のある朝夕は、定時定路線型を維持しつつ、利用の少ない日中からデマンド化にしていく。



### 運賃への影響は

当別ふれあいバスの路線再編（案）



運行経費の増加や運転手不足により、路線再編の対応を行うとのことだが、運賃への影響はどのように考えているか。



継続的な運行には安定した収入が必要であり、

これまででも運賃の見直しは検討してきたが、運転手が両替を行う等の負担があることから、実施には至っていない。しかし、1月からキャッシュレス決済を導入するため、その利用が増えれば、改めて検討していきたい。

## 養護老人ホームの再編へ向けて

令和6年5月の第1回臨時会で、養護老人ホーム長寿園の収支不足を支援する一般会計補正予算が可決となり、町はこれまで補助金の一部交付や指導・助言により支援を行ってきました。

今回、その後の経過として、法人から事業再編計画が提出されたこと、法人にヒアリングを2回行ったこと、残りの補助金を交付したことなどが報告されました。

また、令和6年中に法人へ再度ヒアリングを行い、事業再編計画の進捗状況やキャッシュフローの状況確認を行うことも報告されました。



### 特養「長寿の郷」の再開は

社会福祉法人当別長生会に対する支援経過



法人で営業を2名増やしたとのことだが、ユニット型<sup>※2</sup>特養10名分とショートステイ<sup>※3</sup>は再開したのか。営業より介護職員の人員確保が先ではないか。その辺の指導・助言は行っているのか。



まだ介護職員不足により再開していない。ユニット型特養10名分とショートステイの再開は、どちらを優先ということではなく、基本的に同時に再開するものと法人から聞き取りしている。

## 当別町子ども計画 子どもの意見を



### 子ども向けパブコメ

（仮称）当別町子ども計画に係る調査報告書及び計画策定の進捗状況等



子ども向けパブリックコメントについて、行政が作る文書をそのまま見せても分かりづらいと思うが、子どもから意見を出しやすく、分かりやすくするための工夫などは検討しているか。



分かりやすい表現でパブリックコメントを出そうと考えている。児童生徒については、学校に協力をいただき、電子媒体で答えられるもの、分かりやすい表現のもので考えている。



詳細はこちら

どうべつ子どもHIRARI計画～子どもの未来のために～【やさしい版】  
※令和7年2月10日（月）までパブリックコメント実施中

※1 デマンドバス…予約に応じて、運行する時刻・経路を変えるバス。  
※2 ユニット型…相部屋中心の「従来型」に対し、個室と共同生活室で構成される介護老人福祉施設等の形態。  
※3 ショートステイ…在宅介護が一時的に難しくなった場合などに、短期間だけ施設に入所して受ける介護サービス。



# 医療大学移転に関する経済対策

北海道医療大学の移転により、大学生や大学職員の町内居住・町内消費の減少が予想され、町内事業者の経営環境が厳しくなるとの懸念から、その影響緩和と経済活性化に向けて行う町独自の経済対策について説明がありました。特に質疑の多かった「当別町アパート・マンション引越応援事業」について記事にしました。

## 当別町アパート・マンション引越応援事業とは

北海道医療大学の令和7年度の入学生は、4年時にキャンパスが北広島市へ移転となるため、令和7年3月から町内の賃貸アパート・マンションに空室が増えていくことが予想される。それを受けて、学生に限らず当別町に単身で転入し、民間の賃貸アパート・マンションに入居する者に対し、当別町共通商品券5万円分を支援して、町内への居住促進と地域経済活性化を図るもの。

## 当別町アパート・マンション引越応援事業 Q&A

### Q：支援を受ける条件は。

A：2年以上町内に居住するという誓約書を記入していただき、2年以上の賃貸借契約書の写しを添付することが条件である。

### Q：事業はいつまで行うのか。

A：まずは令和6年度と令和7年度に実施して、その事業効果を検証し、令和8年度以降も継続していくべきか検討する。

### Q：単身者限定の理由は。

A：学生に部屋を貸しているアパート・マンション経営者が大きな影響を被るため、そこへの間接的な支援となるよう単身者限定とした。

### Q：共通商品券は家賃として使えるのか。

A：共通商品券の利用先として登録されている事業者のアパート・マンションであれば、使うことは可能である。



当別町共通商品券



事業詳細はこちら



質疑動画はこちら

# あいあい公園 大型遊具を更新へ



## あいあい公園の大型遊具

公園施設更新工事実施設計業務委託 205万円

**問** 令和6年度に実施設計、令和7年度に工事を行うようであるが、あいあい公園のどの部分を更新するのか。

**答** 現在使用不可となっている大型のコンビネーション遊具2基を撤去し、新たなコンビネーション遊具1基を設置するもの。令和6年度は設計を行う。



## 利用者の声の反映は

公園施設更新工事実施設計業務委託 205万円

**問** これまで大きな公園の遊具の修繕は、アンケート等で利用者の声を聞きながら行っていたが、今回もそのような手順か。また、今回の設計に周辺のベンチなどの付帯施設は含めているか。

**答** 町内の小学校にアンケートを取って、遊具を選定していきたいと考えている。また、今回は遊具のみの設計としている。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。

